

■エリア全般に関すること

- ・東北大学という、市民にとっては専門性が高く感じる面もある。（大学のキャンパスを含めて）青葉山エリアは市民に開かれた場だということを、整理し情報発信していくことが重要。
- ・大都市の都心近くにありながら、自然や文化資源もあるという、このエリアにしかない特徴をどのように生かしていくかが大きなポイント。
- ・空間的にも機能的にもエリア内の資源をうまく繋いでいくということが、今後の最大のポイント。
- ・歴史や自然といった様々なファクターストーリーに応じた、繋がり方があると思うので、それらを機能的にどう考えていくのかということが大きい。
- ・広瀬川は都心の西側にはなるが、都心に非常に近いところにあるので、これを有効に活用し、どう生かしていくかが大事なポイント。
- ・史跡指定されている仙台北城跡については、城が無いことで魅力が無いと思われがちであるため、アピールポイントを変えていく必要がある。仙台の歴史が詰まっているエリアであるというブランディングやプロモーションが必要。
- ・市民が青葉山エリアで歩くことを楽しむとか、出張で仙台にみえた方も自然環境の豊かなところで少しランニングをしたりウォーキングを楽しむといったような、健康志向の部分も、青葉山のイメージに組み込んでいくといい。
- ・住民が楽しんでいるものは観光客も必ず楽しめるので、観光客のために何かを作る必要はなく、住民が普通に歩くコースをもう少し整備するとよいと感じた。
- ・目的を持たずに、今日は都心ではなく青葉山エリアで過ごそう、休日にふと行きたいなというような需要が増えれば、魅力づくりには成功したことになる。
- ・青葉山エリアは、広瀬川の右岸、西側だが、仙台のまちづくりの経緯から見ても特別な場所だということを前提として議論を進めた方がよい。
- ・施設をつなぐとか、分断されているものをループにする。エリアの最大の魅力である豊かなグリーンパブリックスペースをどのように質を高めていくか、繋げていくかということがポイント。
- ・都心と青葉山エリアは、持っているものが違うがゆえに補い合える関係にある。都心は民間主体で作られているが、青葉山エリアは公が持っている部分が多く必ずしも経済的な部分だけではない。豊かなグリーンパブリックスペースを売りにして、そこに来た人が少しお金を落としてもらえる仕組み、官民で同じ方向を向いて作っていきけるかということがとても重要。

■回遊性に関すること

- ・一つはエリア内をどうするのかということ。基本的には徒歩中心になると思うが、場合によっては、新しいモビリティ等を使っていくことも考えられる。エリア外との回遊性をどう作っていくかがもう一つのポイント。
- ・歩行が基本ではあると思うが、歩きたくても歩けない方たちにも優しく、移動できる交通手段が大切。

■コンベンションに関すること

- ・コンベンションの意義は、人が集まって交流することによりいろいろなイノベーションや文化が生まれるということ。オンラインではなかなかそれができないため、コンベンション主催者としては、なるべく現地に来て欲しいということになる。そうした場合、開催地には魅力があることが重要であるため、それをしっかりアピールすることが大事。
- ・エリアにコンベンションで訪れた人々に都心に行ってもらうためには、受け入れる（都心）側に、コンベンションの人々が訪れることで、町全体が盛り上がるということを実感してもらうことが重要。

■ビジョンの示し方等に関すること

- ・物消費ではなくコト消費と言うが、上質な時間、洗練された時間、そういったことを統一の括りとし、その中でいろいろな時間やストーリーを示していくのが良いのではないか。
- ・いわゆる青葉山エリア全体のイメージ固めと、そこが何であるということ発信していくことが重要。その中で、地理別、目的別、または機能別に更に分けて見せていくのだろうと思う。また、組み合わせせて見せたいものをいくつか提案型で作ってもいい。分けたブロックをどのように移動できるか、佇む場所が設定できるかなどを考えていくことになると思う。
- ・自然も含めて地質、地形、歴史など、いろいろな活動をしているグループなどの知見を収集して、このエリアの魅力発信と併せて公開できるといい。
- ・一つに収めるのではなく、多様なストーリーを持つエリアとして様々な人々が楽しめるようなところを考えていくことが大事。
- ・公共交通の利用を促し、公共交通と歩きで回るということストーリーに入れて、自然や環境に配慮したまちづくりと一緒に、青葉山エリアのイメージを作っていけたらいいのではないかと。
- ・アウトプットの仕方としては、エリアでの過ごし方、「こんなことができるような10年後になっているといい」というような示し方もある。